

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> 物作りの楽しさが伝わるよう、教材に工夫を加えるとともに、個性あふれる独創的な表現ができる作品を製作させる。 各時間の授業内容を生徒にわかりやすく伝える。 誰もが意欲的に取り組める授業を目指し、「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で用いるワークシートは、1時間単位で製作し、その授業の流れがわかるようにする。 導入時は、本時の内容に関する発問からはじめ、自分の意見を発表できるようにする。また、友だちの意見を聞く時間をできるだけ設け、他の人の考えを聞くことにより、「思考力・判断力・表現力」を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等に補習を行い、作業に遅れがある生徒の手助けを行う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 物作りの楽しさが伝わるよう、教材に工夫を加えるとともに、個性あふれる独創的な表現ができる作品を製作させる。 各時間の授業内容を生徒にわかりやすく伝える。 誰もが意欲的に取り組める授業を目指し、「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせる。 作品の工程表を作る中で、全体の進行を自ら把握し、計画的に作業を進める力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で用いるワークシートは、1時間単位で製作し、その授業の流れがわかるようにする。 パソコン作品のように同じ作品になりがちなものこそ、創意工夫をこらし、個性が表現できるような教材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等に補習を行い、作業に遅れがある生徒の手助けを行う。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 物作りの楽しさが伝わるよう、教材に工夫を加えるとともに、個性あふれる独創的な表現ができる作品を製作させる。 各時間の授業内容を生徒にわかりやすく伝える。 誰もが意欲的に取り組める授業を目指し、「思考力・判断力・表現力」を身に付けさせる。 作品の工程表を作る中で、全体の進行を自ら把握し、計画的に作業を進める力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で用いるワークシートは、1時間単位で製作し、その授業の流れがわかるようにする。 パソコン作品のように同じ作品になりがちなものこそ、創意工夫をこらし、個性が表現できるような教材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等に補習を行い、作業に遅れがある生徒の手助けを行う。